

看護のためのアセスメント事例集 第2版

この番組は、アセスメントの演習のために作成された映像による事例紹介です。患者さんをトータルに捉え、看護のポイントを考えるという第1版のシリーズのコンセプトを引き継ぎながら、第2版では近年の看護事情に合った事例内容に変更し、映像やCGを一新しています。ぜひ活用ください。



- DVD全12巻
- 各巻価格 ¥28,000 (本体価)+税
- セット価格 ¥336,000 (本体価)+税

■ 企画協力：藤村 龍子
東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科 客員教授

●全巻ご購入の際には、本DVDを効果的に活用するための「資料集（非売品）」が付属します。

- ♥ 事例をもとにグループディスカッションなど看護過程の展開に活用できる
- ♥ 手術の不守や看護師への気兼ねなど患者さんの心理面がわかる
- ♥ 患者さんの病状だけでなく、生活面も含め必要なケアを考えることができる



vol.1 大腿骨頸部骨折患者の看護事例 20分



■ 原案監修：荒川 靖子 聖隷クリストファー大学 看護学部 教授
櫻井 美代子 東京医療学院大学 保健医療学部 看護学科 教授
村上智子さん(75歳)は、自転車で転倒し、大腿部を骨折してしまいました。この事例では、アセスメントの視点として身体的安楽、睡眠休息、身体損傷、セルフケア、コーピング反応などに注目し、入院から手術開始までの4日間の場面を紹介します。

vol.2 胃切除術を受けた患者の看護事例 26分



■ 原案監修：荒川 靖子 聖隷クリストファー大学 看護学部 教授
河田茂さん(61歳)は、病気ステージIIAの進行胃癌と診断され、幽門側胃切除術を受けることになりました。この事例では、アセスメントの視点として、術前までの生活状況、術後の疼痛管理や合併症の予防、通院までの食生活や社会復帰などに注目し、術前1日前から術後2日目までの看護場面を紹介します。

vol.3 糖尿病教育入院患者の看護事例 24分



■ 原案監修：小島 善和 前 東海大学 健康科学部 准教授
山田直人さん(47歳)は、自己血糖測定がうまくいかず、糖尿病教育入院をすることになりました。この事例では、アセスメントの視点として、食事療法や運動療法、自己管理への動機づけなどに注目し、教育入院2週間前の外来診察の場面、入院当日の看護面接の場面、同じ病気を患った患者同士の会話の場面などを紹介します。

vol.4 直腸切除術を受けた患者の看護事例 27分



■ 原案監修：熊坂 隆行 日本保健医療大学 保健医療学部 看護学科 教授
時本健一さん(45歳)は、直腸がんと診断され、人工肛門(ストーマ)を造設することになりました。この事例では、アセスメントの視点として、ボディイメージの変化、セルフケア、社会復帰などに注目し、入院から術後11日目までの看護場面を紹介します。

vol.5 脳梗塞患者の看護事例 28分



■ 原案監修：櫻井 美代子 東京医療学院大学 保健医療学部 看護学科 教授
飯田信一さん(63歳)は、左内包後脚を含めての多発性脳梗塞が発症し、右半身麻痺の症状が現れました。この事例では、アセスメントの視点として、急性期の看護、障害の受容、セルフケア、移動や移乗、社会的役割の変化、家族との関わり、退院準備と自宅への復帰などに注目し、入院当日から退院2週間前までの場面を紹介します。

vol.6 乳房温存術を受けた患者の看護事例 31分



■ 原案監修：雄西 智恵美 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 教授
加藤良子さん(48歳)は、左胸上部に腫瘍が見つかり、術前化学療法と乳房温存術を受けることになりました。この事例では、アセスメントの視点として、化学療法による副作用と体調管理、治療と仕事との両立、ボディイメージの混乱、再発への不安について紹介し、診断確定から術後4日目までの看護場面を紹介します。

vol.7 慢性心不全患者の看護事例 22分



■ 原案監修：深谷 智恵子 亀田医療大学 看護学部 教授
大浜謙二さん(59歳)は、拡張型心筋症と診断され、CRT-Dを植え込みました。この事例では、アセスメントの視点として、慢性心不全による急性増悪の徴候、生活の変化、患者の心理に注目し、3回目の入院当日から7日目までの看護場面を紹介します。

vol.8 慢性呼吸不全患者の看護事例 20分



■ 原案監修：青木 きよ子 順天堂大学 医療看護学部 教授
田中洋子(53歳)さんは、気管支拡張症で在宅酸素療法を行っていますが、症状が改善せず治療に不信感を抱いています。この事例では、アセスメントの視点として、セルフケア不足、不安や孤独、社会的交流の減少などに注目し、入院当日から入院10日目までの看護場面を紹介します。

vol.9 肝硬変症患者の看護事例 24分



■ 原案監修：玉木 ミヨ子 埼玉医科大学短期大学 教授
長野みどりさん(45歳)は、子どもができません、仕事を辞め専業主婦になってからはお酒を飲み続ける日々が続き、肝硬変で入院となりました。この事例では、アセスメントの視点として、腹水貯留に関連した症状、非効果的な自己管理、セルフケア不足などに注目し、入院から4日間の看護場面を紹介します。

vol.10 急性骨髄性白血病の患者の看護事例 21分



■ 原案監修：熊坂 隆行 日本保健医療大学 保健医療学部 看護学科 教授
鈴木健介さん(21歳)は、急性骨髄性白血病と診断され、化学療法を受けることになりました。この事例では、アセスメントの視点として、化学療法を受ける患者への援助、青年期の患者が治療過程で経験する苦痛、白血病患者をもつ家族に注目し、病状説明や副作用の発現などの場面を紹介します。

vol.11 慢性腎不全の血液透析患者の看護事例 27分



■ 原案監修：中谷 啓子 関東学院大学 看護学部 教授
北野浩二さん(54歳)は、11年前より高血圧を指摘されていましたが治療を放置していました。そして腎機能の低下により血液透析を受けることとなります。この事例では、アセスメントの視点として、シャント管理、不均衡症候群、水分管理、食事指導に注目し、血液透析の導入期と維持期の看護場面を紹介します。

vol.12 肺がんのターミナル期にある患者の看護事例 25分



■ 原案監修：高橋 正子 東京有明医療大学 看護学部 教授
大田誠さん(51歳)は、第10胸椎と第5腰椎へのがんの転移とそれによる急性腰椎症のため、緊急入院となりました。この事例では、アセスメントの視点として、疼痛コントロール、社会的役割の変化、家族の心理などに注目し、入院当日から入院3日目までの看護場面を紹介します。